

アートな気分で  
ひとときのお茶を

# ART & Cafe

Vol.3

## 泉麻人さんと めぐる神楽坂の アート&カフェ



独自の切り口で東京の街を語る泉麻人さんと、  
新宿区のおちこちにあるアートな場所へ。  
散策のあとには、味のある喫茶店でほっとひと息つきましょ。  
第3回は、神楽坂の器をテーマにめぐります。



ASATO IZUMI

コラムニスト。1956年、新宿区中落合出身。週刊TVガイドの編集者などを経て独立。「青春の東京地図」「大東京23区散歩」などをはじめ東京を題材とした著書が多い。「東京ふつうの喫茶店」や「東京いつもの喫茶店」などの喫茶本も刊行。



### 山下漆器店



新宿区神楽坂5-13 ☎03-3269-2385  
平日11:00~19:00  
日・祝13:00~18:00  
不定休 →P.14 C-2

### ちょっとした江戸切子博物館

棚に並んだ江戸切子のなかで、とりわけ人気が高いのは「日本伝統工芸士」にも認定された瀧澤利夫の作品。少しずつこの店で買い集めている、マニアックな女性ファンもいるらしい。



### とうしえん 陶柿園

新宿区神楽坂2-12 ☎03-3260-6940  
11:00~19:00  
日・月・祝の中で不定休(営業の場合 13:00~17:00)  
→P.14 D-2



### 趣向に富んだ漆器がいっぱい

一見地味な漆器も、じっくり眺めるとなかなかバラエティーに富んでいる。ちなみに昔は、もっと生活家具が多かったそうで、昭和30年代の写真には「鯉のぼり」「ひな人形」などの看板が写りこんでいた。



江戸切子って奥が深いんですね



ぜひ手にとって漆の温もりを感じてみてね!



山下弘子さんは、戦後まもなく嫁いできたときから、ずっと店の2階で暮らしている。昭和30年代の初め頃は、2階上の物干し台から飯田橋のホームが見渡せたそうだった。最近では、随分奥の方まで店が増えてきたけれど、「ギャラリー&カフェ」は赤城神社の門前にある。神社の赤鳥居が見える窓辺に、オーナーが各地の窯場などから集めてきた小皿や器がレイアウトされ、一つひとつに手書きの解説が付いている。壁に飾られた浦地思久理絵師の人物画も印象的だが、こは珈琲やサンドウィッチ(京風フワフワ玉子サンド)の味も格別だ。

お寺の環境にもちょっと似ている。



### 店内の喫茶店へ

ギャラリーでは、作品を眺めながらカフェでひと休みができる。温もりあるデザインのコーヒーカップや器で味わうとまた格別だ。

今日は気分でもう一軒行ってみよう



オリジナルブレンドのコーヒーとフレンチトーストをデザートに



手ごろな値段の器が買えます

神楽坂のマダムにも好評の皿皿 1,000円〜

赤城神社がすぐそば!

### ギャラリー&カフェ 帝 Mikado

### 赤城神社門前の休憩スポット

日本津々浦々の器あり…。野趣な信楽焼の花ビンには、昔野原でよく見掛けたヨウシュヤマゴボウが生けられていた。窓向こうに垣間見える赤城神社の緑が美しい借景(かりけい)になっている。

店内の喫茶店へ



お店はココ!  
新宿区神楽坂6-34-4  
Felice神楽坂2F  
☎03-3235-3222  
11:30~19:00  
水 →P.14 B-1



### ラ・ロンダジル La Ronde d'Argile



新宿区若宮町11 麻耶ビル1F ☎03-3260-6801  
11:30~18:30(祝日は18:00まで)  
日・月 →P.14 C-3

### 素朴な雰囲気もあるコアな店

オーナーの平盛さんは見るからに「オシャレの目利き」という雰囲気の方。個人的には、「中津藩」という神奈川県愛川町(厚木郊外)の小さな工房で作られた素朴なモロコシ箸が強く印象に残った。